

# ソーシャル・データサイエンス学部における

## 高等専門学校編入学に関するQ&A

Q1：募集人数を「若干名」としているのはなぜですか？

A1：収容定員充足率（定員超過率）の観点から、編入年次の在籍学生数により受入可能人数が変わるため、「若干名」としています。

Q2：提出書類における「英語に関する語学力を証明するもの」とは何ですか？

A2：実用英語技能検定（英検）、TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Test、IELTS、Duolingo English Testを含めます。

Q3：提出書類における「その他自身の能力を証明するもの」とは何ですか？

A3：全国・国際競技会、公的資格・検定、実践型コンペ・オープンソースソフトウェア開発、学術活動などの、数学、統計、情報、社会科学に関わる客観的実績を示す資料の提出を求めます。詳細は募集要項を確認してください。

Q4：これまでの学修状況はどのように評価されますか？

A4：以下に抜粋したソーシャル・データサイエンス学部アドミッション・ポリシーに基づき、学修状況进行评估します。

ソーシャル・データサイエンス学部アドミッション・ポリシー（抄）

### 1. 求める学生像

（略）本学部では、文系・理系にかかわらず、堅固な基礎学力に加え、以下のような知識や能力を備えた入学者を受け入れたいと考えます。まず、本学部における広範な科目での学びの基礎となる数学の堅固な基礎知識とそれに基づく論理的な思考力です。また、本学部で様々な人びととの学びを通じて社会科学とデータサイエンスの知識を修得するためには、日本語及び英語を用いた読解力、説明力、表現力、思考力が必要です。

それらに加え、社会科学とデータサイエンスの知識を融合させる上では、入学前の様々な機会を通じた学習の結果として、社会において数理的なものの考え方を応用する能力や、情報技術の活用について自ら試行する姿勢を備えていることも望ましいと考えられています。

2. 入学者選抜の基本方針及び多面的・総合的な評価方法

(略) 調査書を通じて学びへの意欲を確認します。

(略) そして、学校推薦型選抜では、外国語、数学、情報学、統計学などの特定の分野における深い学びを資格・検定試験の結果で確認するとともに、応用力や学びへの姿勢を確認するため、小論文、面接試験、自己推薦書、推薦書を用いた選抜を実施します。

Q 5 : 3年次編入学の場合、配属研究室(ゼミ)を選ぶことはできますか？

A 5 : 希望に基づき、ゼミ選抜を行います。入学前に、研究テーマや連絡先などの研究室情報を共有するとともに、配属研究室についての希望調査を行います。選考方法や受け入れ人数は研究室によって異なるため、志望する前に関心のある研究室の教員と相談することを推奨しています。

Q 6 : 奨学金や学生寮を利用できますか？

A 6 : 利用できます。JASSO 給付・貸与型、学内給付型奨学金(若干名)、国際学生宿舎(若干名)など、通常学生と同様に応募可能です。